

段階	学習活動及び学習内容	時間 (分)	指導上の留意点
導入	<p>1. 前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントの表を確認し、前時の復習を行う。 <p>2. 課題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のある面がどうなっているのかを予想する。海の形や水の循環に関して、既習事項を基に地球と立方体地球とを比較して予想する。 ・水の循環については、水蒸気が冷えると目の前で水に変化する実験を演示実験で見せる。 <p>【実験】水蒸気水滴になったり、戻ったりすること（可逆変化）がわかる演示実験を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>立方体地球の海（水）のある面では、どのような現象が生じているだろうか。</p> </div>	<p>3</p> <p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀・立方体地球儀を比較する ・海と大気の形状を確認する。 ・水の三態変化をイメージして映像を鑑賞する。・現在の地球とキュービックアースの違いを比較する表
展開	<p>3. 課題に対する自分の予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の形、エネルギー収支・水の循環・食物連鎖、その他気象現象（海陸風、斜面風、台風、筋状雲）などを予想する。尚、これまでの既習事項（気圧、気象、天文、食物連鎖、水やその他の循環）を想起させる様にする。 <p>4. ビデオ観賞（17分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたこと、重要だと思ったことをプリントにメモする。 <p>5. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で出てきた自然現象に起因する事柄や生命の生存に関する点を、班で発表し合い討論しまとめる。各班のまとめを発表し、意見交換する。また、細かな点にも注意するように促す。 <p>最後に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立方体地球の環境では、現在の地球に住んでいる私たちは生活することができるのか、できないのかを問うてみる。 <p>⇒我々の丸い地球は、人類が生存する上で特別に恵まれた環境であることを再確認する。</p> <p>（注：三年生の最後に実施すると既習事項を踏まえた環境教育を含む展開が可能か。）</p>	<p>15</p> <p>32</p> <p>45</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して予想をもたせ、海の有・無を比較して鑑賞する。 ・映像中の写真を提示し、想起する。 ・例えば、水に関する現象の画像（写真） <p>①（水の循環）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物が根に水を蓄えている様子 ・高温・高圧下の氷 ・地下水をくみあげている様子など <p>②（食物連鎖の点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風直下のアップウェリング や漁業や農業など
終結	<p>6. 感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『Cubic Earth』の後編を観て、感じたこと、疑問に思ったことや考えたことをプリントにまとめて記入する。 	48	学習プリント回収

学習プリント②

年 組 番 氏名

【課題】

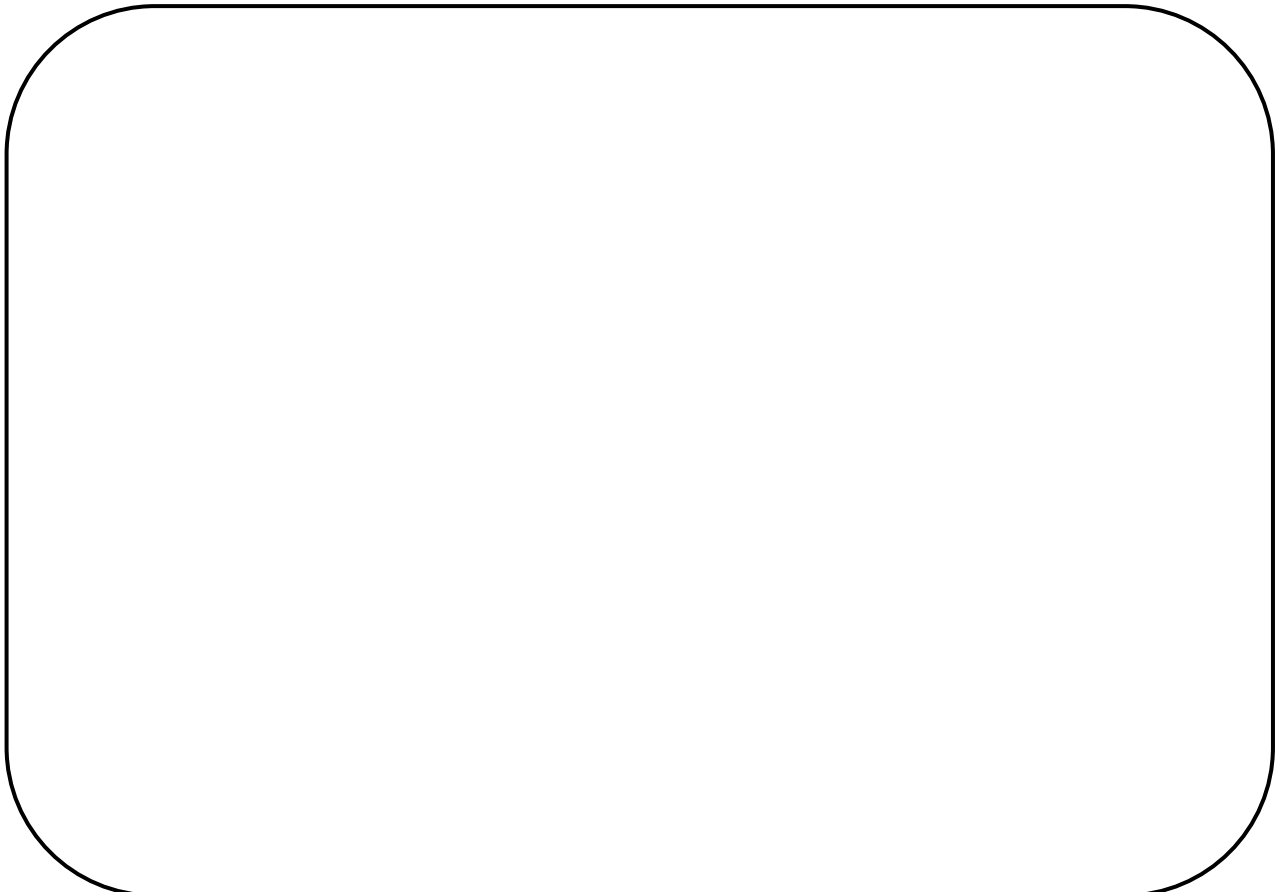


【予想】



*CG 映像を観て気づいたり、大切だと思ったりしたとは、どんどんメモしよう！

【メモ】



【まとめ】

立方体地球	地球
(例) 立方体地球の海のある面の中心に台風が止まっていた。	(例) 風が吹くことによって台風が動いている。

問 立方体地球の環境で、人類は生存できるのか。

--

★感想など★

--